

仙台北部道路の全線開通及び利府ジャンクションのフル化による整備効果

(仙台北部道路(利府しらかし台IC~富谷ジャンクション) : 平成22年3月27日開通)

(利府ジャンクションフル化 : 平成22年10月22日開通)



① 仙台都市圏高速環状道路全線で交通量が増加

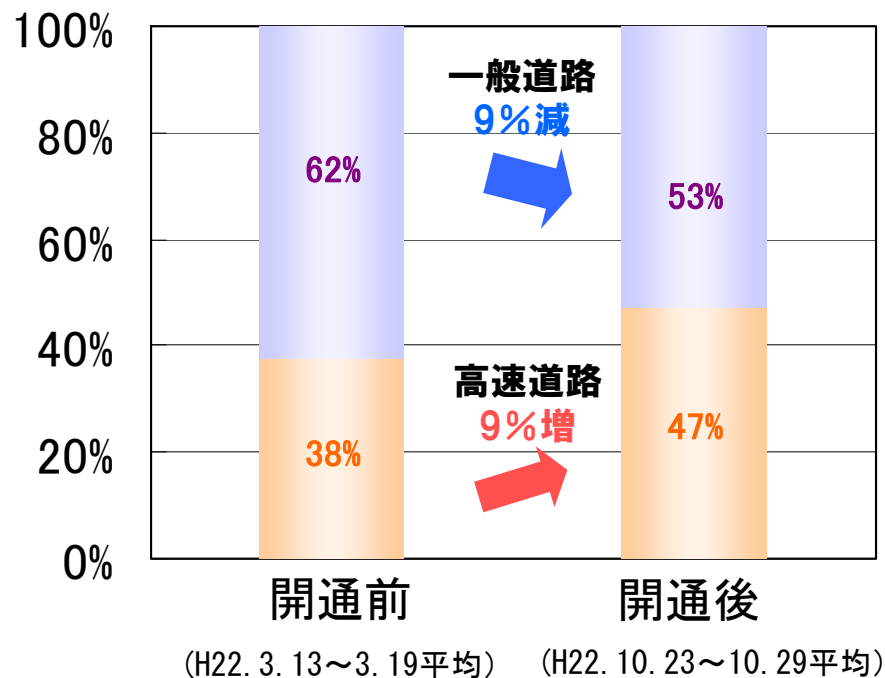
② 富谷断面では、一般道路から高速道路に交通が転換



都市圏高速環状道路の主要区間別交通量の変化(日平均)

高速道路の利用率が上昇
一般道路の利用率が減少

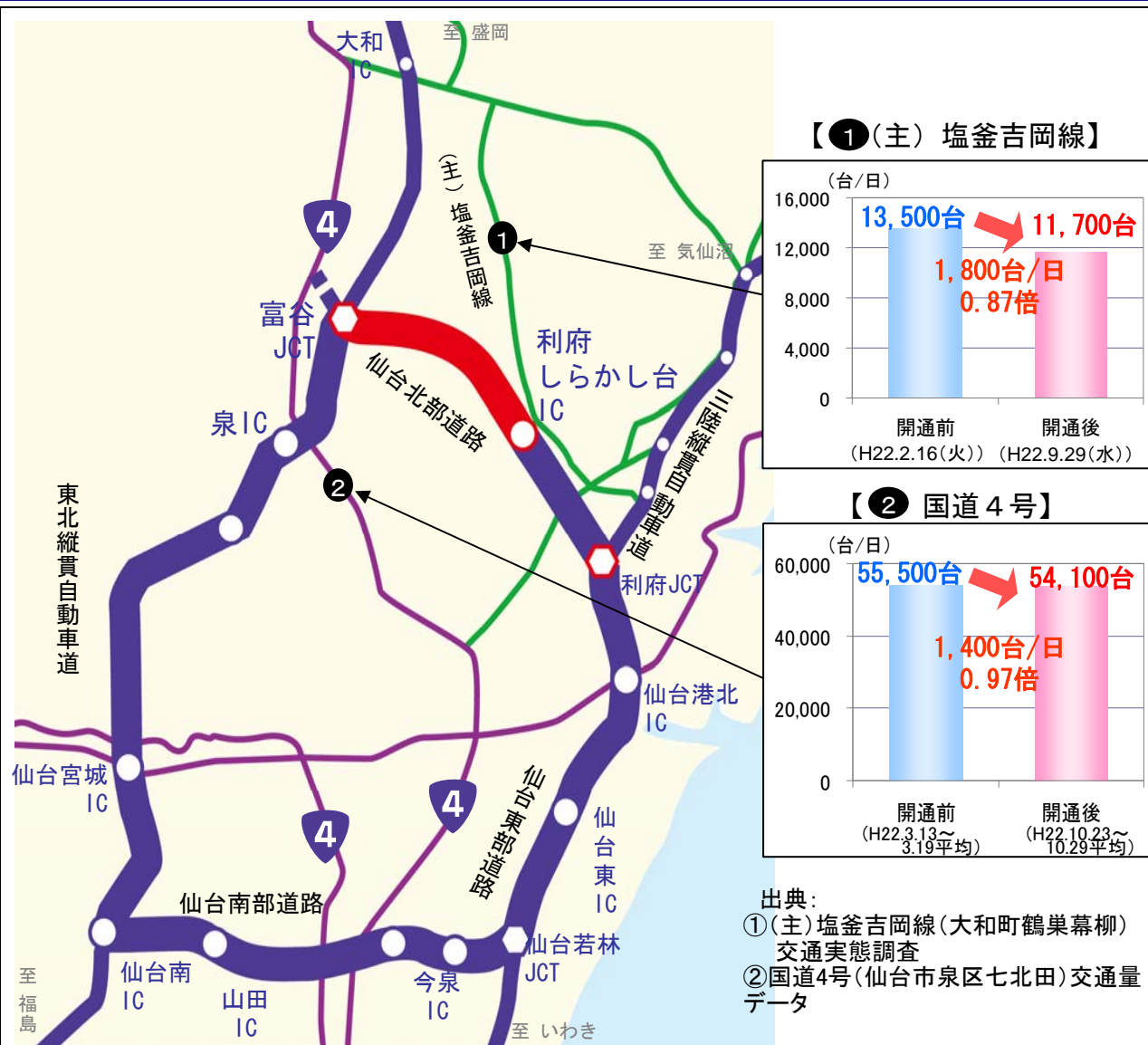
【富谷断面】



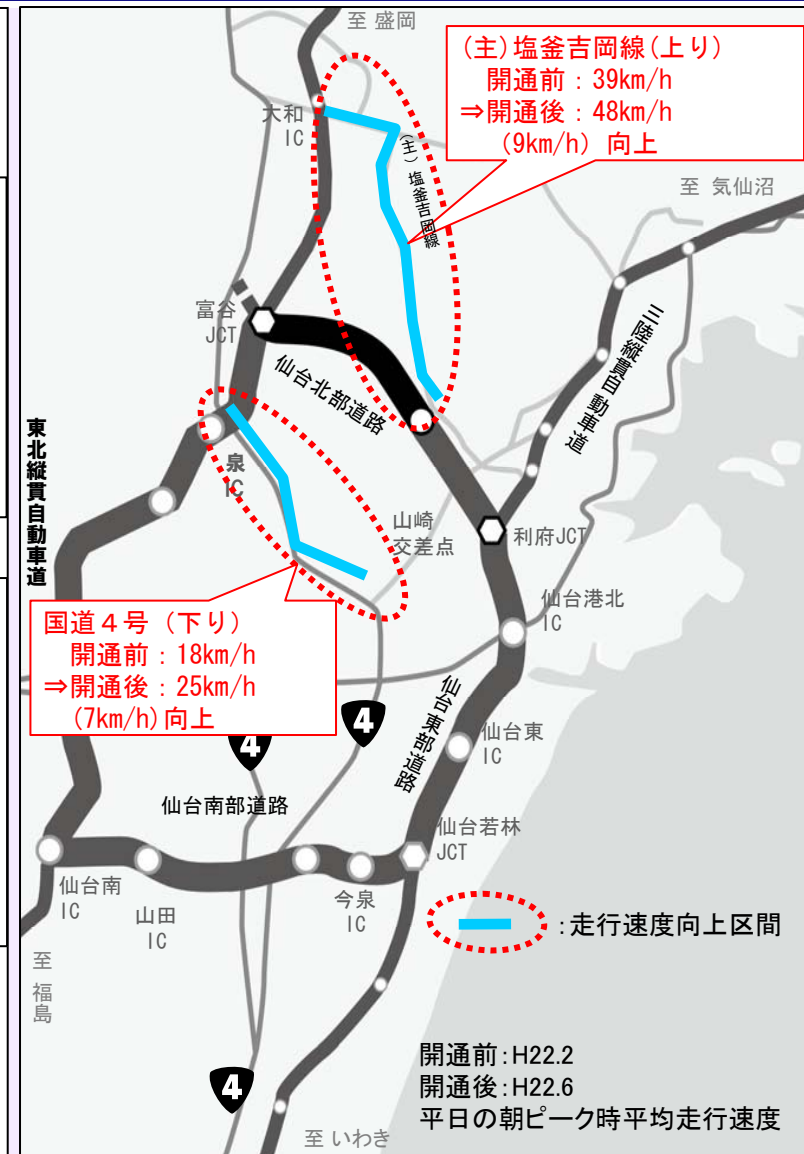
■ : 一般道路(国道4号、(主)塩釜吉岡線)
■ : 高速道路(東北縦貫自動車道)

出典: 実態調査結果及びNEXCO東日本交通量データ

③国道4号と（主）塩釜吉岡線では交通量が減少しピーク時の走行速度が向上



周辺交通量の変化



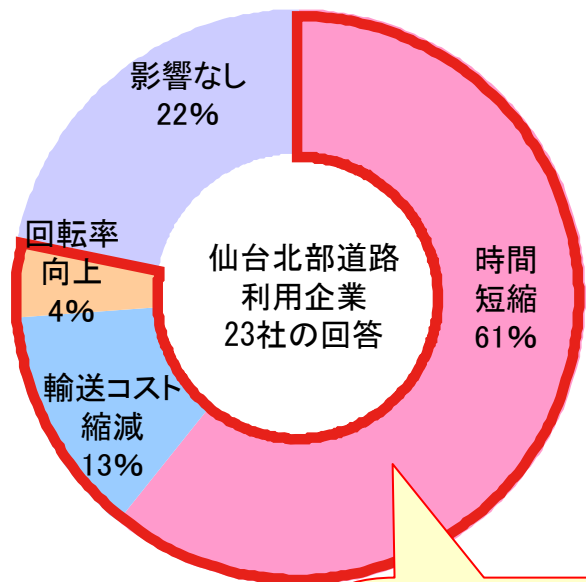
ピーク時走行速度向上箇所 出典：民間プローブデータ

④仙台北部道路を利用している**企業の約8割が時間短縮や輸送コストの縮減等の効果を実感**

⑤自動車輸送企業等では、**輸送時間短縮や人件費が抑制**

■企業アンケート結果

◆仙台北部道路の開通による影響



◆その他の影響

- ・ 緊急時の対応が可能
- ・ 時間信頼性が向上
- ・ 経路の選択肢が増加
- ・ 安全性が向上

出典：H22企業アンケート調査

企業の約8割が効果を実感



仙台北部道路を利用している企業

<H22企業アンケート調査の概要(H22. 9実施)>

宮城県内外の製造業、運送業を対象に北部道路の利用実態について122社にアンケート調査を実施し、46社から回答をいただき、23社が仙台北部道路を利用。

【効果事例①】

・ 岩手県金ヶ崎町から仙台塩釜港間で、完成自動車を輸送する自動車輸送業者は、北部道路利用により、**約20分の時間短縮**につながりました。(約110分 → 約90分)

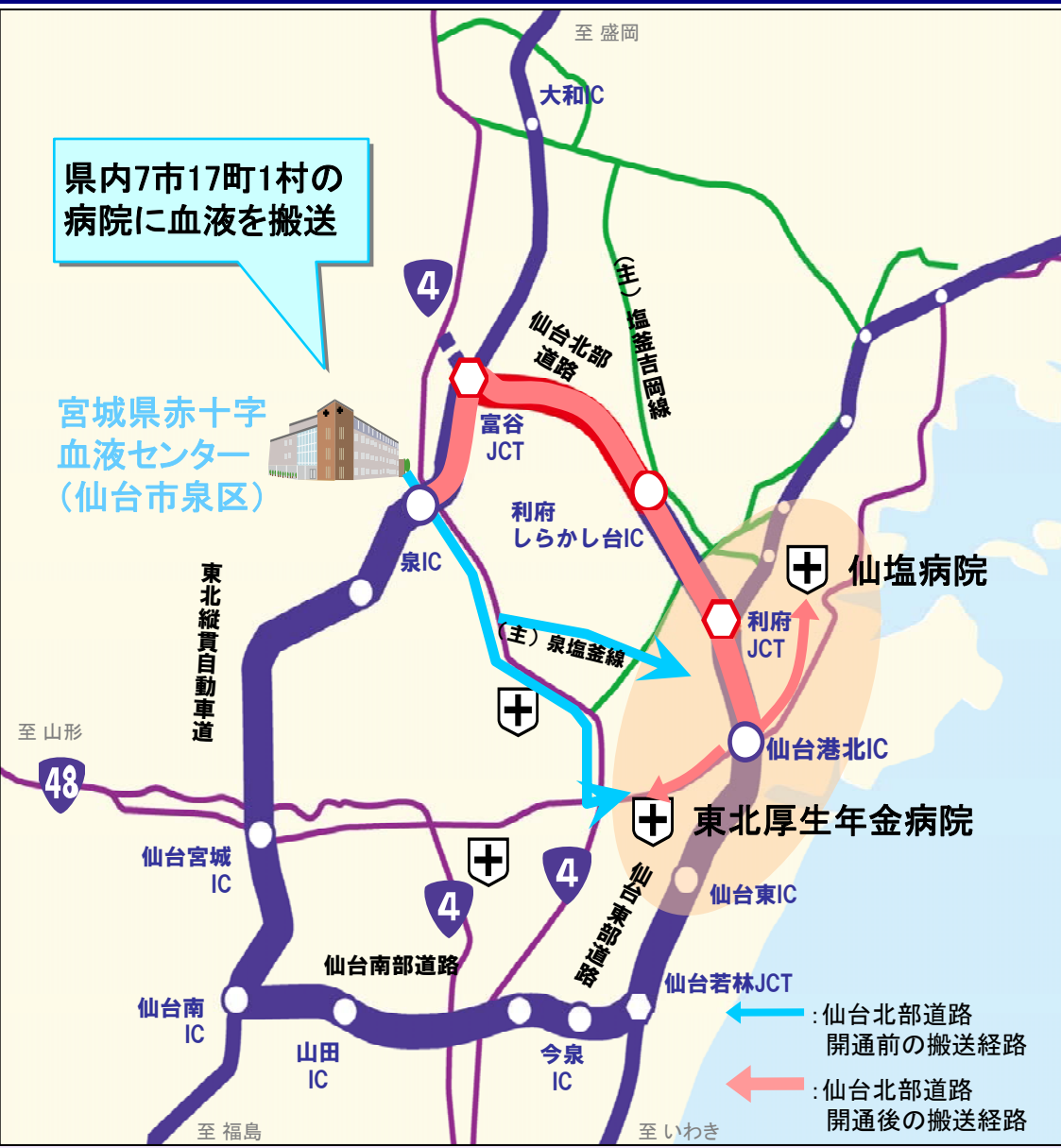
出典：H22企業アンケート調査

【効果事例②】

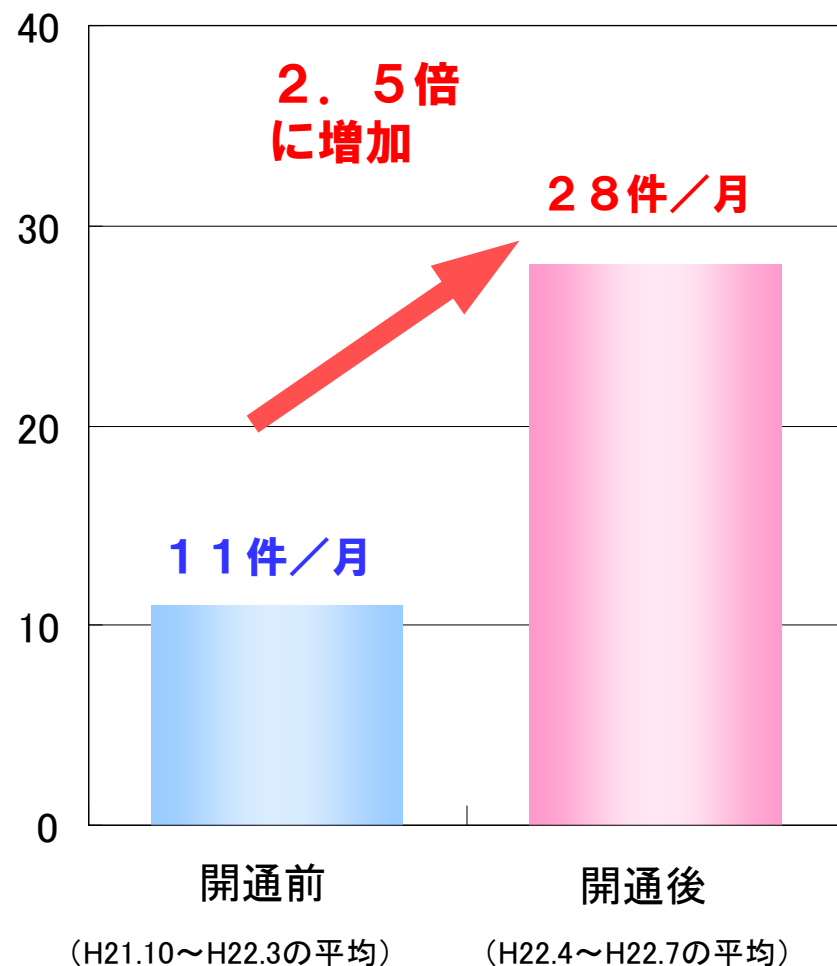
・ 仙台北部道路の利用により、輸送時間が往復で大きく短縮し、**人件費が抑制**（年間約200万円）されました。

出典：H22企業ヒアリング調査

⑥仙台北部道路を利用した血液搬送件数が2.5倍に増加 (11件/月→28件/月)



血液搬送時の北部道路利用件数



出典: 宮城県赤十字血液センター

⑦仙台北部道路沿線(仙台市泉区、大和町、富谷町)住民の 行動範囲が仙台東部道路沿線にまで拡大

■仙台北部道路利用者アンケート結果

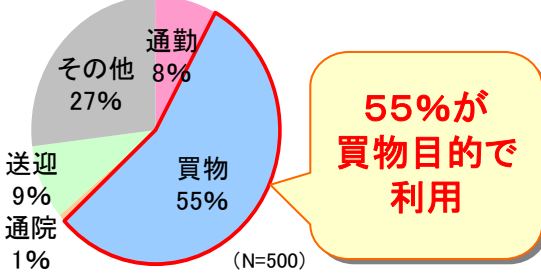
◆移動先を変更した理由

仙台北部道路の開通により行動圏(範囲)拡大となった	行きたい場所が沿線に進出した	目的地が移転した	その他
164/208(人) 79%	17/208(人) 8%	42/208(人) 20%	7/208(人) 3%

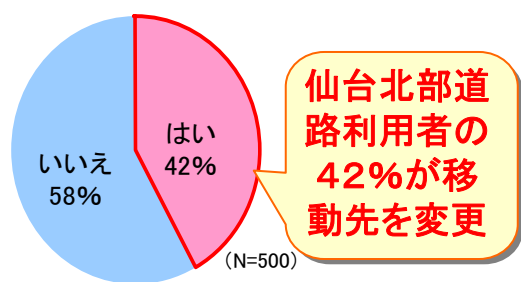
※複数回答

**仙台北部道路の
開通により
行動範囲が拡大した**

◆仙台北部道路開通後の 日常生活での 利用目的



◆仙台北部道路開通後、移動先 (買物先等)を変更したか



出典:宮城県居住者で仙台北部道路利用者(業務・観光での利用者を除く)を対象としたアンケート調査

<仙台北部道路利用者アンケートの概要>
宮城県内居住者(18歳以上)で、仙台北部道路を日常生活で利用した500名を対象に、仙台北部道路の生活面への影響についてアンケートを実施。



移動先(買物等)の行動圏域拡大状況

【ショッピングセンターの声】

- ・秋田県・岩手県・青森県ナンバーの割合が若干増加しました
- ・仙台北部道路が開通したことにより案内がしやすくなり、誰にでも最寄ICを教えられるようになりました

出典:仙台北部道路沿線のショッピングセンターヒアリング調査